

# 日本の農業を救う

# カリスマ

新連載①

## 山形県 井上農場代表井上馨さん

山形県鶴岡市の米どころ、そのうち多くの農家は庄内平野。株式会社井上農場(井上馨代表)は、離農、高齢化のため農業(ここで52畝(3200㎡)を続けることが困難だとの大規模稲作を展開している。

かつては面積3畝ほどの農家だった。だが米だ、農家となる。農協の出荷では生計が立たず、地から直販に切り替えた。域ではどの農家も出稼ぎ、流通を経由しないぶん所をしていた。井上さんも得も高くなるという仕組みだ。

## 農業の平均所得は123万円

農林水産省の米の相対、山形県の10畝当たり予想取引価格は玄米60キ税込、収量は594キ。井上さんで全国平均価格1万3千が農業を始めた当時の850円(2022年)。3畝だと米の収量は1万

7820キ。60キで297袋。価格は411万3450円。ここから人件費、肥料・燃料・種苗・道員などを差し引くこととなる。農水省統計によれば全国平均の農業所得は年間約8回の都内や近郊のデパートや催事に出かけている。米は真推奨の「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」のほかに「ひとめぼれ」の出荷し冬場の仕事も生み

# 農協経由から直販に切り替えて所得を増やす!



都内デパートの催事で販売をする井上さん

る。今は通販で玄関先まで届けられるので、顔の見える関係でお米を注文していたけるようになってる。販売先は個人客を中心に約14000件。ロコミからロンドンへの輸出もつなげた。売上げは1億4000万円。今ではスタッフは役員を合わせて16人。田植えや稲刈りの時期にはパートを頼むなど雇用も生業にも取り組んでいる。

ハウスを利用したマト、小松菜も栽培。地元「雪若丸」「はえぬき」の青果仲間を通して関東の東京のデパートに直接出した。出羽校二五00畝5種類の気軽に食べ、特別栽培米(慣行の2キと5キ入りの米がある。農業生産の中心は、井上馨さんと長男の貴利さん。販売は妻の悦さん。パッケージやホームページの作成は長女の佳奈子さんが手がけ、長男の妻の夏さんは経理・販売・ボン菓子部長を担当している。

水曜掲載